

第5回東郷地域協議会会議録(要約)

日 時 令和5年8月22日(火) PM 7:00 ~ 9:00
場 所 新城市役所 4階会議室
出席者 委員 25名 事務局 4名

次第

- 1 あいさつ
 - 2 報告
(1) 令和5年度地域自治区予算事業の進捗状況について
 - 3 協議
(1) 令和6年度地域自治区予算事業の検討について
 - 4 その他
(1) 市長との地域意見交換会について
-

1 あいさつ

2 報告

- (1) 令和5年度地域自治区予算事業の進捗状況について
・多世代交流事業(東郷学び学校 2023・SUMMER)

3 協議

協議会の会議録署名

- ・定数29人のところ25人の出席があり会議は成立している。
- ・会議録署名について、会長及び署名委員を2名指名し署名をお願いした。

- (1) 令和6年度地域自治区予算事業の検討について
(事務局説明)

- ・前回の地域協議会での意見に対しての市担当課の取り組みや意向を整理するとともに、実行団体の来年度予算要望などを報告した。

◎主な意見

委員 耕作放棄地問題については、あまりにもテーマが大き過ぎる。私の知り合いが新城の遊休農地を使ってコスモス畑を一生懸命やっている。それも一つの方法。案を出すだけならいいが、そこで具体的に動き出すというのは相当難しい。この問題は、地域協議会だけでなく、新城市や農協、農業団体などにももっと真剣に考えてもらわないといけない。一応このテーマについては我々のチームとして受けるが、時間だけ費やして、あまり良いものが出ない結果になりそうな気がする。

事務局 確かにテーマとして大き過ぎるところもあるが、だからと言って、何も動き出さないのかと言ったらそれも違うと思う。例えば、10月に開催する市長との地域意

見交換会が今年もあるので、そこで、耕作放棄地や空き家管理の問題について市長に対して、全市的にもうちよつと進めて欲しい、もっと市も本気になって考えて欲しいという意見をぶつけてみることも今出来ることだと思う。

会 長 この問題は新城市だけでなく全国どこでも困っているはずなので、そう大きく考えずにまずは東郷で出来ることから1つずつやってみよう。出来れば会を作って検討をしていただきたいのでよろしくお願ひしたい。

その後、地域計画の5つの柱ごとにグループに分かれ、令和6年度地域自治区予算事業計画の検討を行った。討議終了後、各柱のリーダーから議論内容の発表があった。以下発表要旨。

柱1 暮らそう

・地域活動交付金を使って、引きこもりの高齢者を外に出す活動内容を考えた。実際にこのメンバーの中で、100円モーニングの立ち上げから色々苦勞した経験者がいて、どうしたら人が集まるか、コーヒーを出すだけではなかなか集まってくれなかった。そういう失敗も繰り返しながら、定着するまでに半年くらいかかったが、様々な方の協力もあり、人が集まるようになったという話があった。資金面としては、区から補助をもらったり、老人クラブから会費を取るなど、市のお金を使わずに運営しているそうで、そこについても検討した。また、他の地区でやっているおしゃべりカフェの話も聞いた。やっぱりなかなか人が集まらない、高齢者を集めるのも大変だという話があったり、敬老会の80歳代の方たちが中心になってきていて、多くの人が集まっている地区の事例もあるという話も聞いた。そのような地区をモデルにしなが、事業としてまとめていけたらいい。今回発足する団体名は、東郷わくわくコミュニティという名称で考えており、会の目的としては、地域の公民館を使って誰もが気兼ねなく集まれる場所をつくることで、高齢者を中心に多世代で交流できるサロンをつくりたい。自宅ではなく、地域の中で第2第3の居場所をつくることや、地域の人たちとつながる場所ができるなど、公民館がそのような拠点となつたらいいのではないか。また、目的がもう一つあり、当初は自宅に引きこもっている高齢者を対象にする方向性だったが、本当に引きこもっていたら、なかなか出て来られないというところもある。55歳以上の方でも、なかなかコミュニケーションが取れず、地域の人との会話も1週間に1回するかしなないかみたいな方も多いので、コミュニケーションが不得意な高齢者や若者も含む方たちが外に出るきっかけができるということを目的に進めていきたい。事業内容としては、子どもも大人も交えて楽しくなるような交流会を企画し、定期開催していく。具体的には、お茶を出してあげて、みんなでおしゃべりするとか、地域の人たちが興味を持ちやってみてほしいと思えるニーズに合ったことを展開して、企画していけたらと考えている。まずは、区長会に伺いこちらからお声掛けして、活動が乏しい地域にスポットを当て、手を挙げてくださった地区に対し、私たちがサポートしながら運営していくという形で進めていけたらいい。また、事業を進めていく中で、本当に困っている方がいれば、私たちが行政とや専門家につなげて解決していけるような役割も担えたり、災害時など本当に大変な時に支え合える社会をつくっていけるような、そういった役割にもなっていけると思う。次回の会議では、予算的なものやPR方法などについて詰めていきたい。

◎主な意見

会 長 事業については地域活動交付金で全てやってしまうので、暮らそうでは地域自治

区予算として予算化はしないということでもいいか。

- 委員 そういった活動の初回立ち上げ費用も含めて、地域活動交付金で申請する予定。
- 委員 現在動いている地区はそのままでもいいかもしれないが、新規でやってみたいという地区は、一度要望を区長会で聞かないと分からない。対象地区が分かれば、そこに対し立ち上げ費用を出して、試しに1年やってみてということができる。
- 事務局 来年度の地域活動交付金だと、今年度の11月から1月までの募集期間となる予定。その期間中までに予算額を確定させた状態で申請する必要があるので、区長会にお邪魔させていただくのは、例えば9月や10月、そこでニーズを調査して、公民館活動を盛り上げたいという区に手を挙げてもらう流れとなる。
- 委員 明日東郷地区の区長会があるので、一応話だけはして、区内で一度検討してほしいという依頼をしておけば、9月くらいには要望が上がってくると思う。

柱2 守ろう

- ・地域防災連携促進事業の見直しに関しては、東郷の防災を考える会で、東郷中学校で開催した防災ミーティングの開催を含め、今後も進めていくという一つの意見として申し述べた。
- ・AED普及推進事業に関しては、使い方の指導促進をしていくということも、守ろうでは投げかけた。
- ・グリーンベルトの老朽化問題に対しては、非常に予算がかかるということだった。これは守ろうでは頓挫したという形になる。新規の情報としては、初回のグリーンベルト新設は国の予算で実施出来るのに対し、2回目以降の塗り直しに関しては、市町村の予算で実施していくことになっており、そういう問題があることを市に投げかけたことになっている。
- ・イモリの養殖、耕作放棄地に関しては、これは準絶滅危惧種なので、市として非常に取り組みにくい問題ということで、耕作放棄地の検討会が発足する来年度に含めて考えたかどうかという意見となっている。
- ・地域協議会と区長会との連携をとってみたいかどうかという意見については、前々回の会議で提案し事務局の方で動いていただき、今後区長会と連携をとっていきましょうとなったことは、一つステップが上がったということ。
- ・通学ヘルメット義務化の件、最初の事務局の説明の中で、学校側からの意見として、通学時の子どもの安全に関する責任は家庭にあり、学校や市教育委員会の権限ではないという見解の中で、学校としては、ヘルメットはもう自由化になっているという理解であるとのこと。現在市としては2,000円を上限としたヘルメット購入補助金がある。これに地域自治区予算で上乗せ補助としてプラス1,000円を追加することをしてはどうか、対象は小学校にやってみてはどうか、いや一般対象にしてこの補助金の普及に努めていってはどうかという意見も出た。最終的に今日のゴールとしては、この限られた数名の中だけで話しているだけでは現状のニーズが分からないということで、一度実際のニーズを保護者や子どもを含め、今どんな希望があるのか、どんな課題があるのか、アンケートをやってみようということが今日の会合の着陸点となった。

◎主な意見

- 事務局 つまり、来年度予算としてアンケートを実施するということか。

- 委員 そういこととなる。今この中で話し合っているだけなので、実際の利用する側がどう
いうニーズを持っているかというのを、何らかの形で情報収集をしたいという考え。
- 事務局 小中学校の保護者の方に、アンケートをお願いをするだけであれば、予算は特にか
かからなくてできる。それなら今年度中に実施できるかもしれない。アンケート結果
を踏まえ、来年度の予算には間に合わないが、守ろうで再度検討していただき、
来年度の地域協議会に引き継ぐという形がとれる。そのような流れでよろしいか。
- 委員 それでお願いしたい。

柱3 育てよう

・前回の会議では、草刈と空き家問題を考える会(仮称)を発足して、来年度その検討をして
もらう活動費を予算化したらどうかとなった。本日、その辺を整理していく中で、わくわくする
まち東郷の地域計画を見ると、実は草刈支援と空き家有効活用は、守ろうの分野の事業で
あることに気付いた。そこで、この問題をどうしていくかを育てようの分野で考えるとしたら、
新規就農支援や関係人口創出の分野でいけるのではないかと、また、紐解いていったら、実
は育てようの中に、地域人材の新規就農支援のところ休耕地の活用という文字がすで
に入っていた。草刈とか空き家支援、それから休耕地、あれこれ散らかっちゃって結局何か分
わからなくなるので、だったらまずは休耕地を考える会(仮称)に特化して、そこから草刈とか
派生してくればいいのかと話になった。草刈をどうにかしようとするから駄目であ
って、耕作したくなれば草はなくなるだろうというようなことで、そこでまたブランド米を作
って収益化していくという案もあれば、畑を持ってないから畑が欲しいと思っている人と畑はあ
るから誰か使ってくれないかという人同士のマッチングみたいなことが上手にできる地域に
したい。そのような方向性のもとで、資料にあるたたき台としての予算の他に、会が様々な企
画をしていくとしたときの企画用のチラシを5万円、先進地を視察する予算として10万円、
その辺の予算を付け加えていただければ、会に応募してくれた人たちに、もう少し自由な発
想もしてもらいながら予算を使ってもらったり出来るのではないかと。

◎主な意見

- 事務局 視察10万円というざっくりした予算では取れないので、休耕地活用の先進地
について、事務局でも調べてくるが、皆さんのイメージと合った視察先があれば教
えていただきたい。また、企画チラシ5万円というのは、メンバーの募集5万円と
は異なり、メンバーが集まった後で、何を企画するためのチラシなのか。
- 委員 集まったメンバーで地域に発信をしていくためのチラシとなる。

柱4 学ぼう

・来年度予算としてはすべて完了と思われる。資料館の方で予算執行していただくことになり、
館長とも相談して決めさせていただいているので、この予算でお願いしたい。

・今年度作成するもつくる新城周辺散策マップについては、どういった場所を載せたいか、ま
た、どういった形のものを作りたいかということで意見を出し合った。来月下旬に観光課との
話し合いに入りたい。それから9月9日に開催予定の東郷学び学校でのご協力をお願いし
たというところで本日の話し合いは終了した。

柱5 楽しもう

- ・議論については、前回の会議で完了しているため、楽しもうのメンバーについては他のグループに入り意見交換を行った。

4 その他

(1) 市長との地域意見交換会について

- ・地域自治区予算の建議の終了後、東郷中学校体育館で開催される。
- ・運営については地域協議会の意見も聞いた上で決定したい。

◎主な意見

委員 私も昨年参加して発言させていただいたが、地元でない方の意見が途中で入って、その方が20分くらい話していた。ルールとして、発言は誰でも可能、ただし地元優先とあるが、司会者が質問者を誰か決める際に地元の人なのかそうでないのかという判別がしにくいところがある。せっかく東郷地域の意見交換会であるので、東郷地域方の意見を吸い上げていただくため何か対策をとっていただくとありがたい。

【21:00 終了】